

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

いつも登録医の先生方をはじめ、医師会および歯科医師会の皆さまには多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。

当院は、「救急医療」と「がん診療」を診療の大きな2つの柱としています。

救命救急センターでは断らない救急医療をモットーにしておりますが、救急医や精神科医のマンパワー不足、働き方改革の厳しい規制によりご迷惑をおかけすることがあるかと存じます。大変申し訳ございません。

がん総合治療センターでは、すべてのがん患者さまに寄り添った、できるだけ低侵襲で優しくきめ細かいがん診療を提供しており好評でございます。

国立病院機構熊本医療センター

院長 たか はし たけし 高橋 毅



また、患者さまに院内で少しでもくつろいでいただこうと、喫茶ドトール、焼きたてパンの販売、売店ローソン、熊本城やサクラマチを一望にできる展望レストラン、広い患者図書室を整備しました。さらに、外来受診後の気分転換に、市街でお買い物を楽しんでもらいたいと、シャトルバスを巡回させています。

今年も登録医の先生方、地域の医療機関の皆さまと共に熊本県の医療に貢献できますよう努力してまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2023

特集

新年のご挨拶

- 院内医学会プログラム
- VOICE
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿





新年のご挨拶

副院長

ひだか みちひろ
日高 道弘

明けましておめでとうございます。旧年中も皆様には変わらぬご支援をいただき、誠にありがとうございました。昨年10月には、国立病院総合医学会を熊本の地で開催することができました。幸いにもコロナ禍の第7波と8波の谷間で、とても良い時期に多くの参加者を熊本にお迎えすることができ、人と人とのつながりを実感できる、我々にとりまして大変有意義な学会となりました。本年も地域の皆さまのご期待に応えられますよう、引き続き質の高い安全な医療を目指して参りたいと存じます。また病院内部にあっては、職員が伸び伸びと仕事ができる環境づくりを心掛けて参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

副院長代行・統括診療部長

みやなり のぶとも
宮成 信友

新年あけましておめでとうございます。

昨年もコロナが収束せず、今後も8波がどのようになるのかも予測はできない状態ですが、診療部としては、コロナ禍の中での診療にもかかわらず、令和4年度の医療収益は改善傾向になりました。皆様のご協力に感謝するとともに、改めて病院の体力を実感いたしました。

さて、2024年4月から医師の働き方改革が施行されます。そのため、令和5年度は診療体制の維持・向上はもちろんのこと、働き方改革に向けての取り組みが必要になります。医師を増員できれば効果的ですが、現状で一定レベルの医師の確保、増員は現実的ではありません。地域、病院間で連携しながら対応する必要があると思っています。医師の働き方改革に向けて、当院でも時間外労働等の把握、整備を行い準備しているところです。

今年も昨年と同様に、病院の診療体制が維持・向上できるように努力して参ります。本年もどうぞご支援よろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

看護部長

うちの
内野 かおり

新年のご挨拶を申し上げます。

令和4年もCOVID-19が主役ではありましたが、少しずつ様子の変化し、Withコロナが益々定着する中で自粛していた様々な催しなども再開するようになりました。当院においても、第76回国立病院総合医学会を対面で開催することができ、大盛況の内に終了することが出来ました。それでも、医療従事者は日常の感染対策に神経をとがらせ、まだまだストレス状況下にあります。令和5年、どのような状況になるのか予測不能ではありますが、皆様方のご支援ご協力の元、当院が果たすべき地域の役割を全うしたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

事務部長

まきの いさお
牧野 功

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年はコロナ過のなか、3年ぶりに現地にて第76回国立病院総合医学会を開催することができ、全国から4,500人の仲間が熊本に参集し、盛況にて滞りなく終了することが出来ました。ありがとうございました。

当院は、これからはwithコロナで、様々な行事、イベントなど開催していく所存です。

感染対策を怠ることなく、何事も先頭に立って頑張っていきたいと思っております。

本年もより一層尽力して参りますので、ご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

本年も何卒よろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

薬剤部長

みなもと やすのり
湊本 康則

新年あけましておめでとうございます。
います。

昨年は令和4年7月3日(日) に第36回臨床薬理セミナーをテーマ「薬薬連携皆で作ろう、シームレスな薬物治療を提供できる環境」でハイブリッド形式での開催ができました。熊本県病院薬剤師会、熊本県薬剤師会、熊本市薬剤師会の皆さんには感謝申し上げます。

薬剤師は、医薬品の適正使用に貢献し、患者さまの安心・安全を確保することが果たすべき使命です。薬の専門家として他職種と協力し、質の高い医療が提供できるように努めなければなりません。そのため、薬剤師の教育にも力を入れ、薬剤師としての職能を発揮し社会に貢献できるよう努力していきます。

本年も何卒宜しくお願い致します。



新年のご挨拶

臨床研究部長・地域医療研修センター長

とみた まさお
富田 正郎

新年あけましておめでとうございます。
います。

昨年は10月に、国立病院総合医学会が熊本城ホール等で現地開催され、全国津々浦々から国立病院機構の職員が約4,500名、熊本の地に集合いたしました。

今年は1月21日に第28回熊本医療センター医学会が当院大ホールでの開催、31題の口演予定です。参加無料の公開学会です。どうぞ多数で参加ください。

また今年は地域医療研修センターでの「診断と治療—最近の基礎公開講座—」は現地とWebのハイブリッド開催を予定しております。どうぞお気軽に御参加ください。

令和5年が皆さま方にとって良い年となりますよう御祈念申し上げます。



新年のご挨拶

地域医療連携センター長

きくかわ ひろあき
菊川 浩明

新年あけましておめでとうございます。
います。

昨年、当院でも COVID-19 によるクラスターが発生し、病棟閉鎖や入院制限などを経験しましたが、各医療機関の皆様との医療連携を継続できたため、診療レベルを落とすことなく維持することができました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

この医療連携にも DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入が必要不可欠になって参りました。当院でも Web を利用した各施設との面談や、熊本メディカルネットワークの利用などを開始していますが、まだまだ道半ばの状態です。働き方改革も見据えて色々仕掛けを考えてみたいと思います。ただ、医療においてはお互い顔の見える連携はかけがえのないものです。当院で月1回開催しています病診連携会議では、登録医の先生方にご来院頂き施設紹介をして頂いています。紹介ご希望の医療機関の皆様は医療連携室までご連絡お願い致します。今後も各医療機関の先生方、スタッフの皆様とは“密”な連携が出来るように努力して参ります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



新年のご挨拶

救命救急センター長

さくらい としひろ
櫻井 聖大

新年あけましておめでとうございます。
います。

旧年中は救命救急センターに格別のご高配を頂き、誠にありがとうございます。皆様の支えの甲斐もあり、無事に1年間救命救急センターの責務を全うすることが出来ました。心より感謝申し上げます。

昨年も COVID-19 に翻弄されることが多かった1年でした。今年も当院の役割である重症 COVID-19 診療にも引き続き注力しつつ、あらゆる重症患者さまや緊急を要する患者さま、病態が多岐にわたる患者さま等を可能な限り受け入れ、最善な治療を提供できるように病院を挙げて頑張っ参ります。

皆様に信頼され、選んでいただける救命救急センターを目指し、職員一同精進して参りますので、今後とも御指導・御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

第28回 国立病院機構熊本医療センター医学会プログラム

令和5年1月21日（土）

開会の辞
8:25~

高橋 毅（国立病院機構熊本医療センター院長）

一般演題Ⅰ「外科系・病理」
8:30~9:51

座長：小澄 敬祐 先生（熊本大学医学部附属病院 消化器外科特任助教）
吉竹由佳里（国立病院機構熊本医療センター 6階東病棟看護師長）

- I-1 転移性腎細胞癌に対しニボルマブ・イピリマブ併用療法が奏功しSurgical CRを得られた1例
泌尿器科 東俊之介 前田喜寛 村上栄敏 山中達郎 鮫島智洋 銘苅晋吾 菊川浩明
- I-2 前立腺癌治療中に原発不明癌を併発した1解剖例
病理診断科¹⁾ 泌尿器科²⁾ 柳田恵理子¹⁾ 山中達郎²⁾ 荒木玲美¹⁾ 岩本賢尚¹⁾ 石山 楓¹⁾
臨床検査科³⁾ 松本 明¹⁾ 菊川浩明²⁾ 村山寿彦³⁾
- I-3 脳膿瘍の加療中に中大脳動脈（M2）が紡錘状に拡大し破裂した1例
脳神経外科 斎藤大嗣 中川隆志 田嶋恒三 大塚忠弘
- I-4 関節リウマチによる多関節拘縮9年後に両側THA、両側TKAを施行した症例 -術前の筋力は必ず必要か？-
整形外科 福元哲也 前田 智 中馬東彦 福田和昭 寺本周平 富野航太 國武 茜
- I-5 皮膚の開窓術（Unroofing）が奏功した腎部慢性膿皮症の1例
皮膚科 中原智史 松永仁美 草場雄道 牧野公治
- I-6 顔面骨骨折後に発症したガス壊疽の一例
形成外科 大塚駿太 石田拓也 東野哲志 大島秀男
- I-7 開窓療法により著明な骨増生を認めた再発エナメル上皮腫の1例
歯科口腔外科 前田顕誠 中尾美文 中川文雄 早川真奈 谷口広祐 森久美子
中島 健
- I-8 小腸憩室穿孔の3例
外科 田中愛美 久野祐樹 中村 尋 谷崎卓実 松石 梢 野元大地 東 孝暁
松本克孝 水元孝郎 久保田竜生 宮成信友
- I-9 亜全胃温存脾頭十二指腸切除術後に繰り返す上部消化管出血を契機に診断に至った門脈狭窄の1例
外科 安部禎人 中村 尋 久野祐樹 谷崎卓実 松石 梢 野元大地 東 孝暁
松本克孝 水元孝郎 久保田竜生 宮成信友

一般演題Ⅱ「内科系・臨床工学部門」
9:55~11:07

座長：宮里 賢和 先生（熊本大学医学部附属病院 腎臓内科助教）
名村 亮（国立病院機構熊本医療センター 呼吸器内科部長）

- II-1 著明な高血糖に糖尿病性筋塞を併発した一例
糖尿病・内分泌内科 荒木裕大 井手口拓弥 西田周平 木下博之 西川武志
- II-2 βラクタム系抗菌薬が無効の腸炎の再評価で診断に至った日本紅斑熱
総合診療科 久保崎順子 吉村文孝 國友耕太郎 辻 隆宏
- II-3 胃癌手術後にフェニトイン中毒を生じた一例
脳神経内科 浦川朋也 幸崎弥之助 津田幸元 高松孝太郎 小阪崇幸 田北智裕
- II-4 黄疸と肝障害を契機に診断され、致死的な経過を辿ったATLの一例
血液内科 伊藤将司 田口 詢 河北敏郎 中村貴久 杉谷浩規 窪田 晃
井上佳子 榮 達智 原田奈穂子 日高道弘
- II-5 初回治療時に脳出血を併発しながらも根治的治療が可能だった急性骨髄性白血病の2例
血液内科 野上光一郎 河北敏郎 田口 詢 中村貴久 神谷千晴 杉谷浩規
窪田 晃 井上佳子 榮 達智 原田奈穂子 日高道弘
- II-6 骨髄異形成症候群（MDS）、非定型抗酸菌症（NTM）の経過中に発症したANCA関連血管炎の1例
腎臓内科 吉井隆一 松下昂樹 中村朋文 梶原健吾 富田正郎
- II-7 リチウム中毒に対して透析（HD）を行った際のリチウム濃度の推移
救命・救急科 臨床工学技士部門¹⁾ 松下尚暉¹⁾ 脇坂祐里¹⁾ 古瀬文音¹⁾ 清元 玲¹⁾ 久原亮希¹⁾
腎臓内科²⁾ 森永良和¹⁾ 佐藤朋哉¹⁾ 竹本勇介¹⁾ 新木信裕¹⁾ 富永圭一¹⁾
松下昂樹²⁾ 吉井隆一²⁾ 中村朋文²⁾ 梶原健吾²⁾ 富田正郎²⁾
- II-8 引きこもり状態に伴い著明な頭部シラミ症から重症貧血を呈した13歳女児
小児科 小山真輝 濱口正義 大塚ゆかり 緒方美佳 右田昌弘 水上智之

一般演題Ⅲ「メディカルスタッフ」
11:10~12:22

座長：四元 有吏（国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室長）
広瀬 亮介（国立病院機構熊本医療センター 副臨床検査技師長）

- Ⅲ-1 四指壊死を来した症例に対するADL向上を目標とした作業療法
リハビリテーション科 青崎香央里 市原佳樹 西村仁志 戸沢美希 村上寿一
- Ⅲ-2 iPad版コミュニケーションツールを活用して見えた本人にとっての意味のある作業～もう一度、家族に手料理を～
医療法人桜十字 桜十字病院 水野亨哉 三村将護 東 裕也
リハビリテーション部
- Ⅲ-3 せん妄予防対策チーム介入によるせん妄発症率の変化とチーム活動について
医療法人朝日野会 朝日野総合病院 廣瀬友美¹⁾ 里 昇龍¹⁾ 吉良幸起¹⁾ 清水直子²⁾ 片淵 茂³⁾
総合リハビリテーションセンター¹⁾
麻酔科²⁾ 外科³⁾
- Ⅲ-4 新型コロナワクチン接種後の有害事象に関するアンケート調査
薬剤部 稲田夏実 山田政典 宮田拓周 松下馨介 佐々木幸作
小園亜希 湊本康則
- Ⅲ-5 治験電磁化システム導入後の現状と今後の展望
治験センター¹⁾ 薬剤部²⁾ 西本辰徳¹⁾²⁾ 宮本 聖子¹⁾²⁾ 高本由紀子¹⁾ 市下由美¹⁾³⁾ 吉井 薫¹⁾³⁾
看護部³⁾ 臨床研究部⁴⁾ 鍋島 彩¹⁾³⁾ 浮池香奈子¹⁾²⁾ 中川留美¹⁾³⁾ 田尻光子¹⁾ 湊本康則¹⁾²⁾
富田正郎¹⁾⁴⁾
- Ⅲ-6 仮想単色X線画像を用いた大腸癌術前3D-CTにおける静脈描出能の検討
放射線科 坂田潤一 長野智大 近藤裕樹 長岡里江子 有迫哲朗
- Ⅲ-7 新型コロナ禍における病診連携の変化
看護部¹⁾ 医療ソーシャルワーカー²⁾ 山下聡子¹⁾ 池田としえ¹⁾ 河上昌子¹⁾ 平木みゆき¹⁾ 宮本愛美¹⁾
山鹿市民医療センター地域医療連携室 生田春香¹⁾ 矢野美也子¹⁾ 西迫はづき²⁾ 安藤秀隆²⁾ 三浦由江²⁾
医療ソーシャルワーカー³⁾ 村上良子²⁾ 坂本陽子²⁾ 服部 燿²⁾ 松本沙季²⁾ 福島大志³⁾
熊本医療センター 診療部⁴⁾ 菊川浩明⁴⁾
- Ⅲ-8 心理療法士によるビデオ視聴型職員向け院内研修実施の試み
精神科 山村佳乃子 濱野 学

昼 食（12:22~12:55）

一般演題Ⅳ「看護・看護学校」
12:55~13:49

座長：森山ひろみ（国立病院機構熊本医療センター 教育研修係長）
田中紀代美（国立病院機構熊本医療センター 附属看護学校教育副主事）

- Ⅳ-1 排尿日誌を活用した転倒防止への取り組み～患者に寄り添った排泄ケアを目指して～
看護部 5 南病棟 村上果奈美 東 隼人 西野一史 工藤なぎさ 深川千晶
- Ⅳ-2 A病院における迅速対応システム（rapid response system：RRS）の効果と今後の展望
看護部 6 東病棟 甲斐 彰 今村祐太 米野由美 前川友成 香月 麗 作永江里
橋本麻里衣 吉本健志 池田啓之
- Ⅳ-3 転倒リスクのある高齢者に対する看護～チーム医療における情報共有の効果～
看護部 7 東病棟 江頭佳那 重元美希 岩切志織
- Ⅳ-4 地域在住高齢者とのコミュニケーション演習の効果
附属看護学校 市場美織 橋口清美 高木佳寿美 黒木智鶴
- Ⅳ-5 2、3年目看護師への継続した教育支援の取り組みの効果
看護部 6 東病棟 吉竹由佳里 松野 順 甲斐 彰 前園美香
- Ⅳ-6 特定行為研修担当者の役割
特定行為研修室¹⁾ 副院長²⁾ 吉岡 薫¹⁾ 日高道弘²⁾

総評・閉会の辞
13:49~

日高 道弘（国立病院機構熊本医療センター副院長）



医療法人社団 健友会
きたがわ内科のりこ皮膚科クリニック

院長 **きたがわ ゆうすけ 北川 祐介**
 医師 **きたがわ のりこ 北川 徳子**



◆ 貴院のアピールをお願いします

当院は、中央区坪井の地で「星子外科」→「やましろ病院」へと継承を重ね、50年以上に渡って地域医療の一端を担ってまいりました。この度、先代の意思を引継ぎ、令和4年9月1日より、「きたがわ内科のりこ皮膚科クリニック」へと名称を改め新たなスタートをきりました。内科・消化器内科・皮膚科・美容皮膚科を軸に視野を広げ、「信頼でき、相談しやすいかかりつけ医」として、「永く地域を支える医院」であるべく日々精進してまいります。胃カメラ・大腸カメラを快適な空間で受けられる、清潔感のある美容フロアで優雅に過ごして頂けるよう工夫しております。

◆ 先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

暇さえあれば熊本の美味しいお店を探しています。また、土地や歴史にも惹かれるものがあり、ランニングやドライブで知らない地域を訪れ、新たな発見をすると気分が上がります。今ひそかに目をつけているのが、八景水谷のトルチェパンさんです。

◆ 当院へのご要望をお聞かせ下さい

いつも大変お世話になっております。ただでさえ御多忙であるうえに、コロナ禍における診療は、計り知れない重圧がかかっているものと脱帽しております。にも関わらず、いつも快く受け入れていただき、感謝しきれません。



内視鏡前処置室



美容皮膚科待合室



【診療科目】

内科 / 消化器内科 / 循環器内科（土曜） / 皮膚科 / 美容皮膚科

【診療受付時間】

月・火・木・金 9:00 ~ 13:00 / 14:30 ~ 18:00
 水・土 9:00 ~ 14:00

【休診日】

日曜・祝日（水・土の14時以降）

【住所】

〒860-0863 熊本市中央区坪井1丁目3-46

【TEL】

096-343-1200

【FAX】

096-343-1201

研修医奨励賞の受賞について

臨床研修医
何 逸美



この度は日本消化器病学会九州支部例会におきまして研修医奨励賞を賜り、大変光栄に思うと同時に身の引き締まる思いです。

初めての学会発表で不安もありましたが、杉和洋先生や松田暖先生にご指導を頂く中で、スライドが形になっていく楽しさを感じるようになりました。また多数の論文に触れたことで肝細胞癌の薬物治療に対する理解も深まり、今後の診療の質向上に繋がったと思います。今回の受賞を励みに、より一層の研鑽を重ねて参りたいと考えております。

最後にご指導いただいた先生方、共に学ぶ仲間の皆様に心より感謝申し上げます。

12/3 (土) | 熊本県薬剤師会 薬剤師企業説明会
に参加しました。

薬

【筆者】副薬剤部長：小園 亜希

令和4年12月3日(土)、熊本県薬剤師会館において、令和5年度3月卒業修了予定の薬学生を対象とした「薬剤師企業説明会」に参加しました。



新型コロナウイルス感染防止対策により、1クール30分で学生2名ずつ計6回に分けて行われ、当院のブースには11名の学生がきてくれました。

雰囲気を感じてもらうために写真を用いて説明しました。学生の皆さんは、病院薬剤師の業務について真剣に耳を傾け、特に将来認定資格を取るための支援や、給与体制についてなど積極的な質問もたくさんいただきました。

新型コロナウイルスの影響もあって、会場はやや落ち着いた雰囲気でしたが、学生さんの熱心なまなざしが印象に残りました。

【場所】熊本県薬剤師会館



「1.5T MRI 新装置稼働開始」

1月から最新の1.5T MRIが稼働し、これまで同様3Tと2台体制で行ってきます。新装置では、AIとDeep Learningを用いた先進的な画像再構成技術と高速撮像技術により高画質化と撮像時間短縮が可能です。またMR elastographyも撮像可能で、肝疾患の繊維化進行度が把握できます。そして、検査ストレス軽減のため、検査環境の工夫を行っています。

放射線科 西 祥吾



研修医レポート

臨床研修医

みなもと かずや
源 和也



こんにちは。初期研修医1年目の源和也と申します。宮崎大学を卒業し、4月より研修をさせていただいております。研修がはじまり8か月が経とうとしていますが、まだ慣れないことばかりで多くの方にご迷惑をおかけしております。

私は消化器内科からローテーションがはじまりましたが、何もわからず四苦八苦しておりました。しかし、オーベンの先生方に教えていただきながら、エコーや内視鏡の補助など多くの経験をさせていただき大変勉強になりました。次のローテーションである外科では手術はもちろんのこと縫合や術後管理など基礎的なことを学ぶこともできました。また国病学会でも外科の先生方のお世

話になりながら発表することができ、貴重な経験をさせていただきました。

精神科や産婦人科、小児科では、院内でのコンサルトを通してせん妄の対応を学ばせていただいたり、婦人科疾患を通して病棟管理を学んだり、小児科では熱性けいれんといった救急疾患の対応をさせていただき、多くの経験を積むことができました。

10月からは代謝内科でお世話になり、糖尿病の血糖管理に始まりSheehan症候群やCushing症候群疑いの患者さまの負荷試験など経験させていただきました。内分泌疾患の発見の難しさや糖尿病の奥深さなど学ばせていただきました。

現在ローテーションさせていただいている血液内科では、白血病の患者さまの診療を通して多くの合併症の対応をオーベンの先生から学ばせていただいております。また骨髄穿刺やPICCなどの手技も教えていただき充実した研修の日々を送らせていただいております。

多くの方々の支えにより今の研修生活が送れていることを感謝しながら、今後も日々精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

臨床研修医

むらかみ たかとし
村上 考利



熊本大学卒業、研修医1年目の村上考利と申します。熊本生まれの熊本育ちで、今年の4月から熊本医療センターで研修をさせて頂いております。入職から早いものでもう8ヶ月が過ぎました。4月と比べると出来るようになったことが増えましたが、それと同時にまだまだ沢山のハードルがあると日々実感する次第です。

私は血液内科から研修が始まり、救命救急部、精神科、産婦人科、小児科、消化器内科とローテーションさせていただきました。血液内科では、まず電子カルテの使い方から薬の処方、検査のオーダーなど初歩的なことを覚えることから始まりました。それに加え、救急外来での当直も始まり、業務に慣れるので精一杯でした。そんな自分

を、指導医の先生をはじめ、病棟スタッフの方々、研修医の先輩方が熱心に指導して下さり、段々と出来る業務が増えました。それにつれて、病棟管理も少しずつ学べるようになり、中々診ることができない造血幹細胞移植の患者さまも担当させて頂きました。血球の低下に伴う感染症の管理など、学生の実習とは違った深い学びを得ることができました。また、指導医の先生には知識や手技だけでなく、患者さまとの接し方や配慮など礼節の部分も数多く教えて頂き、医師、社会人としての基礎も学ばせて頂きました。

血液内科のみならず、この8ヶ月間、各診療科の先生方、スタッフの方々にお世話になりながら充実した研修の日々を送らせていただきました。改めてこの恵まれた環境で研修出来ることに感謝しつつ、今後も初心を忘れずに精一杯、日々の研修に励みたいと思います。今後ともご指導の程よろしくお願致します。

患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX 096-353-6563



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和5年1月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 中村 真久	達智 佳子 榮 井上	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西川 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	木下 博之 (午前新患) 裕大 (午前再診)	井手口 拓弥 (午前新患) 木下 博之 (午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師 (院内コンサルト)	(午前紹介/院内コンサルト) 原 英記		名村 亮 原 英記 (院内コンサルト)	小野 宏 原 英記 (院内コンサルト)
	感染症内科	小野 宏	小野 宏			小野 宏	小野 宏
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	松下 昂樹	富田 正郎	
腫瘍内科	境 健爾	境 健爾 達智 博隆	境 健爾 達智 博隆	境 健爾	境 健爾 達智 博隆		
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥	杉 和洋 中田 成紀 向坂 健佑	杉 和洋 石井 将太郎 佐々木 大亮	杉 和洋 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮	松山 太一 佐々木 大亮	松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 佐々木 大亮 松田 暖	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 松山 太一 山本 祐弥	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 山本 祐弥	石井 将太郎 松山 太一 山本 祐弥
	腹部超音波	杉 和洋 松田 暖	石井 将太郎 松田 暖 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 山本 祐弥	中田 成紀 向坂 健佑 山本 祐弥	石井 将太郎 大亮 山本 祐弥	杉 和洋 松山 太一
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	田山 信至 日下 裕章 (新患) 木村 優一 (新患)	藤本 和輝 拓光 (隔週 新患) 奥野 佑樹 (隔週 新患)	片山 哲治 (新患) 日下 裕章	田山 信至 (新患) 白尾 友宏 長倉 拓光 奥野 佑樹	藤本 和輝 (新患) 片山 哲治 木村 優一	
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 健実 岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めての方 2回目からの方						
小児科	診察	水上 智之	大塚 ゆかり	水上 智之	水上 智之	小山 真輝	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	石田 昌宏		担当医		石田 昌宏	
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科	東 孝暁 日高 香織 (隔週)	水元 孝郎 松本 谷崎 卓実	野元 大地	宮成 信友 松石 梢	久保田 竜生		
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	田嶋 恒三 大塚 忠弘	中川 隆志	斉藤 大嗣 大塚 忠弘	
	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助	田北 智裕	
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智和 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		園武 茜		富野 航太	
泌尿器科	前田 喜寛 銘苅 晋吾	菊川 浩明 鮫島 智洋 村上 栄敏	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 東 俊之介 / 担当医		
産婦人科	高木 みか 坪木 純子	山本 直 島田 清史郎	手術日	高木 みか 坪木 純子	山本 直 清史郎		
感覚器センター (眼科)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂	(手術日)	柴木 大輔 幸野 理久 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 志茂田 裕	手術日	担当医	上村 尚樹 志茂田 裕		
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり)	中原 智史	牧野 公治	草場 雄道	担当医	牧野 公治	
	再診 (その他 初診)	中原 智史 草場 雄道	牧野 公治 山村 愛	草場 雄道	担当医 (手術日)	牧野 公治 山村 愛	
形成外科	(午 後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	(午 後) 手術日	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 石田 拓也 大塚 駿太	(午 後) 大島 秀男 石田 拓也 大塚 駿太		
放射線科	治療 (予約制) 画像診断	富高 悦司、山田 茂雄 根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、幸村 紘子、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)	添田 賢造 (術前診察 / 麻酔相談)		(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)			
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科	森 久美子 (隔週) 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈 前田 顕誠 (隔週)	中島 健 森 久美子 谷口 広祐 (隔週) 中川 文雄 中尾 美文 早川 真奈 (隔週)	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中川 文雄 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈		
救命救急センター	櫻井 聖大 橋本 克孝 松本 周 山田 友友 國友 耕太郎 吉村 文孝 深水 浩之 国武 和也 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 周 山田 友友 國友 耕太郎 久保崎 順子 深水 浩之 和也 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 松本 山田 周 深水 周 木村 文彦 国武 和也 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 松本 山田 周 深水 周 国武 和也 杉野 大樹	櫻井 聖大 橋本 周 山田 友友 深水 浩之 国武 和也 杉野 大樹		
看護外来	ストーマ がん看護	専門看護師 (午前)	認定看護師 専門看護師	認定看護師 専門看護師	認定看護師 専門看護師		
	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師 他	専門看護師 他		
薬剤師外来	がん化学療法 薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師		

(注) 担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R5/1/1